重文札幌農学校第2農場農機類標本台帳

一般名称: スレッシャ、投込式全自動脱穀機	現地の通称:

資料種別: ◉製品-実物 ○製品-レプリカ ○製品-模型 ○製品図面 ○写真等 ○図書掲載 ○その他

資料種類:
- ☐ 人力用具 ☐ 手押式 ☐ 耕耘用 ☐ 調製用
- ☐ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類
- ☒ 原動機具 ☐ 牽引式 ☐ 管理用 ☐ 機素
- ☐ トラクタ具 ☒ 定置式 ☒ 収穫用 ☐ その他

管理プレートNo.

台帳No.

相手先番号等

配置位置メモ

秤量室201

製作者・会社: 北海道農機具工業㈱

製造市・国名 札幌

製造年_購入年,標本収集年: 1955年頃に農場で購入、1967年に廃棄、標本化

使用目的・使用方法等

麦類の定置式脱穀機、（普通コンバインの刈り取り部を除いた脱穀調製機構と同じ）。
リーパーで刈取った麦を藁付きのまま投入口に投げ入れると扱胴による脱穀、ストローウオーカによる穀粒・穂切れ、麦藁の分離、金網の篩（ふるい）による選別、唐箕による風選などにより、穀粒、ワラ屑、麦藁に分離して排出される。スレッシャは、1870年代に北海道開拓使（畜力機で駆動）と千葉県の下総種畜場（御料牧場、スチーム機関で駆動）に輸入機が入ったし、三田農具製作所で小型機を製造した記録もあるが、広範に普及したとは言えない。

利用経過_収集記録_意義等

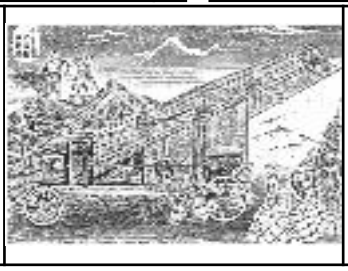
1955年頃に北大農場（主に第二畜産部）で購入、麦類の脱穀に利用、恐らく札幌農学校導入機から三機種目になると想定される。1970年頃に普通コンバインを導入して廃棄処分となる。

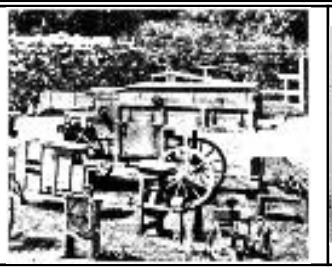
仕様書_解説等

右に全体図

右中央写真；標本機の1976年展示写真
右２番目写真：IHC社カタログより、下左写真：七重官園のスレッシャ：1870年代撮影、２番目写真：下総種畜場のスレッシャ：1882年「事業問答筆記付録」誌から引用、３番目写真：札幌農学校のスレッシャ：1900年撮影、４番目写真：北農式コンバイン1954年撮影

外観特色関連図等





資料の所在

秤量庫

資料管理経過

作業メモ・追記文

北海道農機具工業㈱（北農機）は、スレッシャ製造技術を生かし、1954年に自走式普通型コンバインを開発した。

台帳管理番号 S723